

環境経営レポート

松菱運輸株式会社



2023 年度

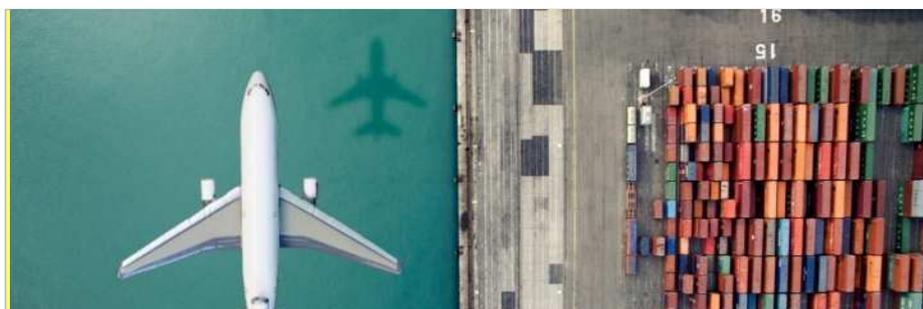
(対象期間: 2023 年10月1日 ~ 2024 年9月30日)



作成日: 2025年1月31日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6-9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9



ごあいさつ

当社は、経営理念の中で、「一人ひとりによるみんなの幸せの追求」を目的として、「環境に優しく、豊かな生活を実現する」ことを謳っております。我々物流サービス事業者は、エッセンシャルワーカーとして社会から認識されていることを自覚し、また今後の持続可能な社会の実現のために、エコアクション21を活用して、環境に配慮した衣食住関連商品の輸送に携わることや環境に配慮したサービスをおこなうことに取り組んでまいります。

環境経営方針

環境経営理念

我々は、環境に優しく豊かな生活を実現すべく、本業である通関業・港湾運送事業を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動への取り組みを自主的・積極的におこないます。

お客様に喜んでいただけるサービスを効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、主業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制につとめます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 環境に配慮したサービスをお客様にお届けします。
6. 環境に配慮した衣食住関連商品の輸出入サービスの提供に努めます。
7. 地域や関係団体の社会貢献活動に積極的に参加します。



制定日：2021年7月9日
改定日：2022年11月1日

代表取締役社長 角高 哲治

組 織 の 概 要

更新日：2023年10月1日

(1) 名称及び代表者名

松菱運輸株式会社
代表取締役社長 角高 哲治

(2) 所在地

本 社 大阪市浪速区湊町1丁目4-38
神戸支店 神戸市中央区小野浜町12番1号（新港東ふ頭V上屋）
東京支店 東京都品川区南大井6丁目24番10号（カドヤ第10ビル8階）
南港営業所 大阪市住之江区南港中6丁目7番（南港外貨雑貨センターQ2上屋）
りんくう事務所 大阪府泉佐野市りんくう往来北2番地の21（りんくう国際物流センター622号）

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務部長 角高 哲治 TEL：06-6634-9205（代表）
担当者 経営企画室 大西 良宗 TEL：078-333-5183

(4) 事業内容

通関業、港湾運送事業、フォワーディング事業

(5) 事業の規模

売上高 560,000 万円 5拠点分を入力

	本 社	神戸支店	東京支店	南港営業所	りんくう事務所	合計
従業員 名	85 名	19 名	15 名	12 名	2 名	133 名
延べ床面積 m ²	544.66 m ²	3,089.07 m ²	231.5 m ²	1,660 m ²	24.25 m ²	5,549.48 m ²

(6) 事業年度

10 月 1 日 ～ 9 月 30 日

◆認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：松菱運輸株式会社
対象事業所：本 社

神戸支店
東京支店
南港営業所
りんくう事務所

活動：通関業、港湾運送事業、フォワーディング事業
本年度の活動期間：2023年10月1日～2024年9月30日

◆事業や製品(商品)の紹介

上海～大阪スーパーホットデリバリーサービス

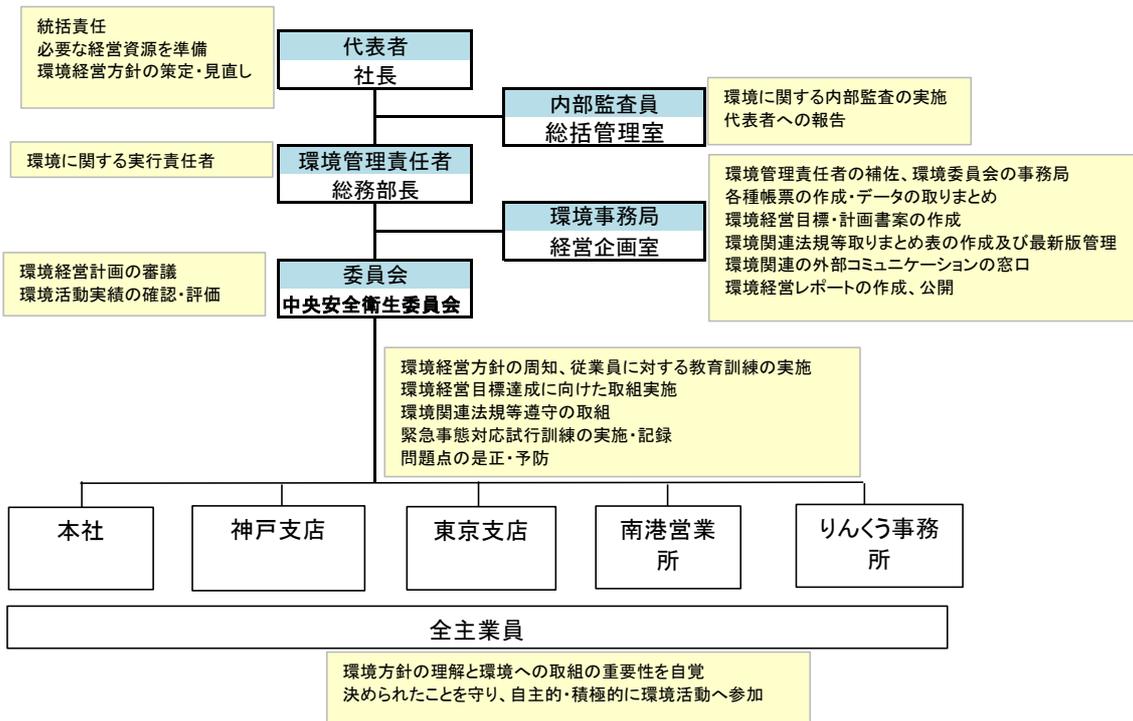
最短3日でお手元に！早く安心な納品をお約束します！

上海からのフェリー船を使用することにより安定した短期配送スケジュールを可能としております。
また、自社倉庫に搬入することにより、入港当日出荷が可能です。
ぜひ本サービスをご活用ください！



環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2024年4月1日



全社で指差呼称への取組

主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	118,670	118,730	112,567
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	11,526	11,526	12,877
産業廃棄物排出量	kg	28,993	28,993	40,572
水使用量	m ³	1,407	1,407	710

※関西電力2019年度二酸化炭素調整後排出係数を使用

※上記二酸化炭素総排出量には、目標対象外のLPGの使用量が含まれています。

0.318 0.318 kg-CO₂/kWh

環境経営目標及びその実績

◆環境経営目標及びその実績

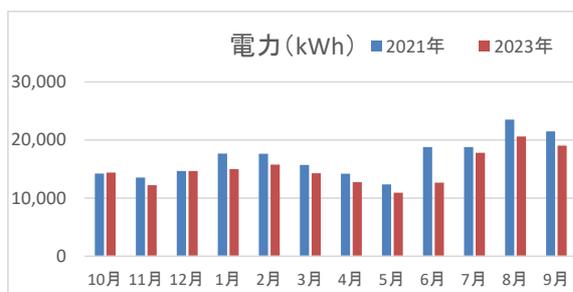
項目	年度	基準値	2023年		評価	2024年	2025年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	63,461	61,557	57,303	○	59,040	58,425
	基準年度比	2021年	97%	90%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	53,861	52,784	54,586	×	52,208	50,710
	基準年度比	2021年	98%	101%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	117,322	114,341	111,889	○	113,167	111,994
一般廃棄物の削減	kg	11,526	11,295	12,877	×	11,299	11,182
	基準年度比	2021年	99%	112%		97%	96%
産業廃棄物の削減	kg	28,993	27,543	40,572		24,178	23,398
	基準年度比	2021年	95%	140%	×	93%	90%
コピー用紙の削減	枚	3,995,000	3,915,100	3,705,000		3,632,650	3,595,200
	基準年度比	2021年	99%	93%	○	50%	50%
水道水の削減	m ³	1,407	1,379	710		1,777	1,738
	基準年度比	2021年	95%	50%	○	50%	50%
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	行動目標(次項による)						
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標(次項による)						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

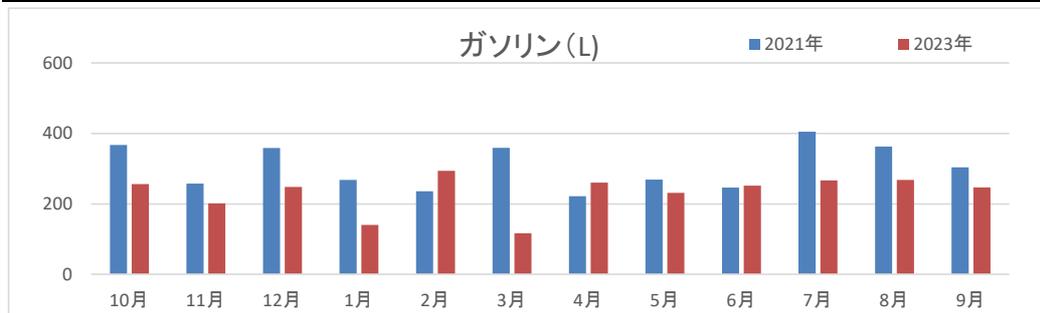
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	全体では基準年を下回ることができた。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	神戸支店、南港営業所で照明器具のLEDが行われたが南港営業所ではあまり効果が確認できませんでした。
・不要照明の消灯	△	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	△	

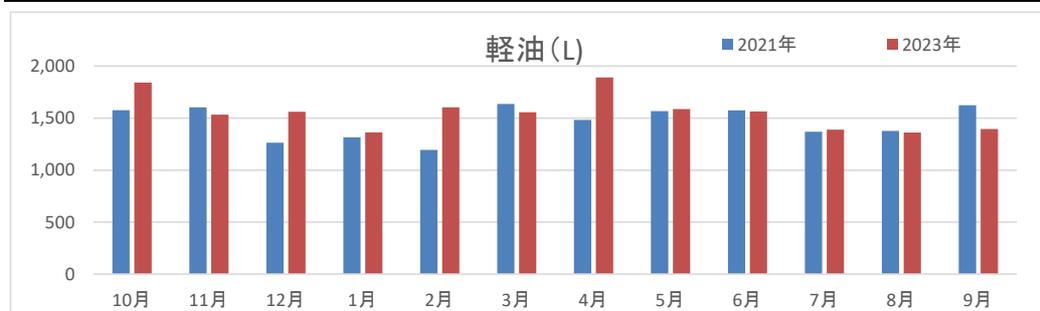


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	14,245	13,563	14,667	17,663	17,650	15,728	14,199	12,361	18,809	18,809	23,508	21,483
2023年	14,391	12,227	14,674	15,006	15,769	14,293	12,765	10,934	12,685	17,809	20,596	19,052

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	ガソリン車の燃料使用量は減少傾向ですが、倉庫用フォークリフトの燃料(軽油)は増加傾向であった。空ぶかしやアイドリングストップ等に気を付けることで減少につなげたい。
・【ガソリン】アイドリングストップ	○	
・【ガソリン】近距離については公共交通機関の利用	○	
・【軽油】フォークリフトの効率的な運行と燃費向上	△	

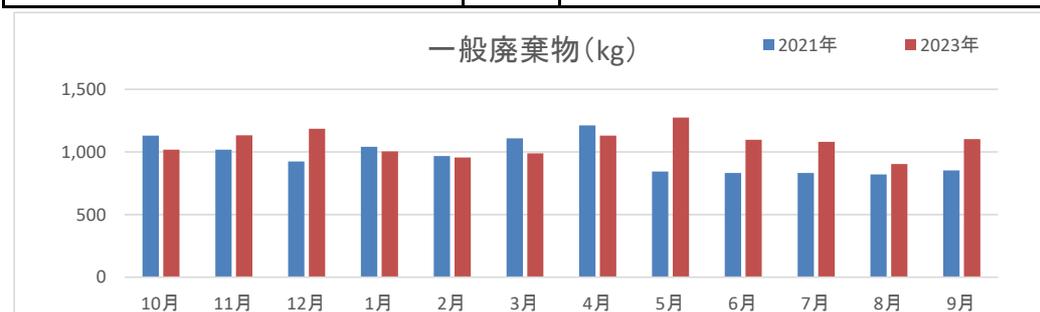


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	368	258	359	268	236	359	222	269	247	405	363	304
2023年	256	202	248	141	294	117	261	232	252	267	268	247



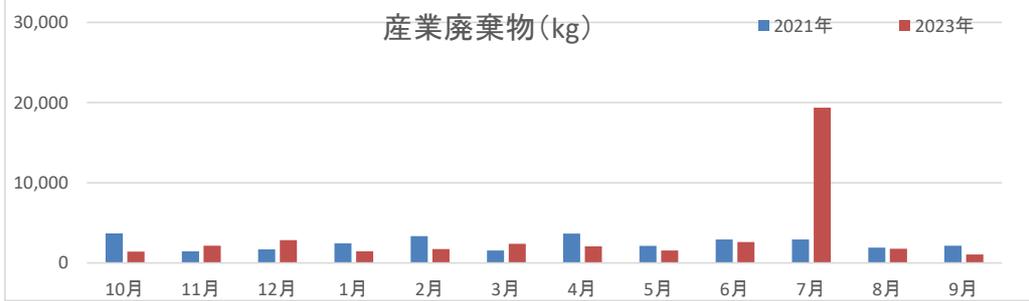
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	1,576	1,605	1,264	1,315	1,195	1,636	1,483	1,567	1,575	1,370	1,377	1,625
2023年	1,843	1,534	1,561	1,363	1,605	1,557	1,892	1,588	1,564	1,389	1,362	1,396

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	本社、神戸支店のシュレダーダストが増加傾向にあると思われる、コピー用紙の使用を減らすとともにリサイクルにて回収を推奨します。
・分別の徹底	△	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	



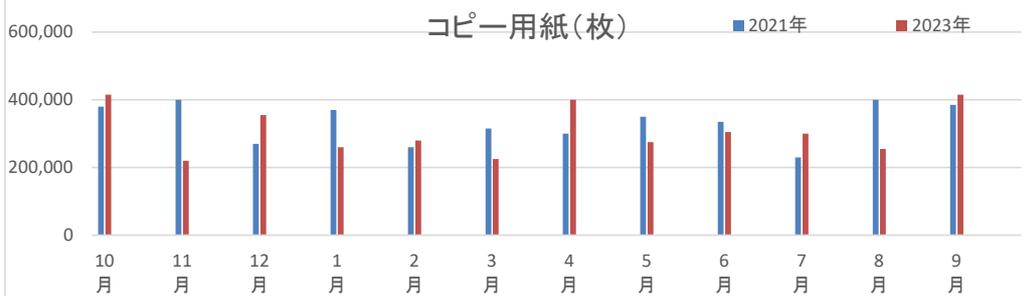
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	1,131	1,019	924	1,041	968	1,109	1,212	844	833	833	821	853
2023年	1,019	1,133	1,186	1,005	956	989	1,130	1,274	1,097	1,081	904	1,103

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	神戸支店でずっとまえから残っていた廃棄物を処分した為大きく目標値を上回ってしまったが一時的な増加の為今後は問題ないと思われる。
・素材別ボックスの設置	○	
・マニフェストの管理	○	



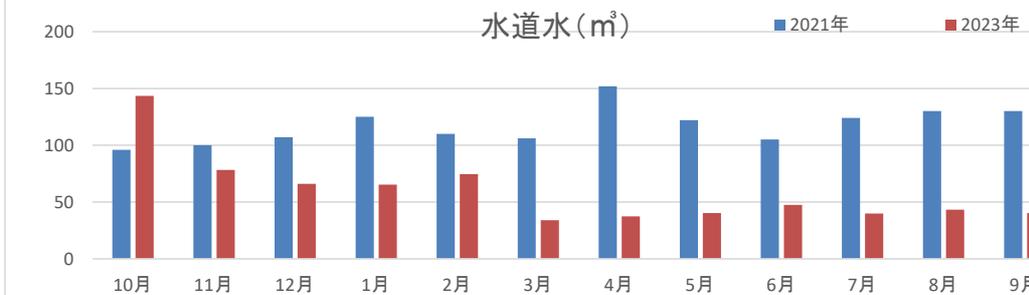
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	3,688	1,470	1,701	2,453	3,349	1,576	3,672	2,153	2,940	2,940	1,916	2,159
2023年	1,435	2,170	2,853	1,468	1,750	2,398	2,081	1,568	2,626	19,370	1,785	1,068

コピー用紙の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	月別では目標値をクリアできていない月があったが通期では目標値を下回ることができた。
・デュアルモニターの設置	△	
・両面、集約などの印刷、コピーの徹底	△	
・コピー機使用後の設定のリセット	○	
・裏紙が活用できる紙は可能な限り利用する	○	
・使用済み封筒の再利用	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	380,000	400,000	270,000	370,000	260,000	315,000	300,000	350,000	335,000	230,000	400,000	385,000
2023年	415,000	220,000	355,000	260,000	280,000	225,000	400,000	275,000	305,000	300,000	255,000	415,000

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	南港の漏水は問題ない為目標設定を見直す必要があると思います。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	96	100	107	125	110	106	152	122	105	124	130	130
2023年	144	78	66	65	75	34	37	40	48	40	43	40

環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・国内輸送におけるパレット利用促進	○	2024年問題でトラック輸送時のパレット使用頻度が増えた今後も利用促進を進める。
・鉄道輸送、内航船の利用頻度の向上	×	
・最適な国内輸送モードの考案と提案	○	
・トレーサビリティシステムの構築(CO2見える化)	×	

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・繊維以外の商品群の取扱の増加	○	繊維以外の商品の取り扱いも少しずつ増加傾向にある。しかし新サービスの考案や新規事業の創設は進んでいない引き続き取り組んでいきたい。
・新サービスの考案	×	
・新規事業の創設	×	
・協業企業の開拓	○	
・物流・通関に関する専門性のさらなる向上	△	

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規制等名称	該当する設備・項目	本社	神戸支店	東京支店	南港営業所	りんくう事務所
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出	○	○	○	○	○
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫の設置	○	○	○	○	○
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫	○	○	○	○	○
小型家電リサイクル法	小型電子機器28品目	○	○	○	○	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

◆外部からの環境上の苦情・要望等

2023年度中は、発生しませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年1月31日

・全社的にエアコン使用抑制による電力消費量の削減が進み、連日の猛暑にも関わらず節電意識がはたらいしたものとして評価できる。

・コピー用紙も東京だけでなく、各拠点で削減が進んだのは、デュアルモニターの設置が浸透し業務の電子化がおこなわれてきていることが背景にある。

・水道使用量も、南港の漏水工事終了とともに大きく減少し、効果が出ている。

・廃棄物については、スポットでの大量廃棄が発生したことによる増加となったが、日常的には廃棄量は抑えられていると推測される。

・自動車燃料については、南港でも神戸でも増加しており、これについては特殊要因があったわけではなく、日頃の業務、フォークリフトの運転について改善余地があると見え、課題として残った。内部監査にて、緊急事態訓練への参加人数につき少ないとの指摘があった。緊急事態時には誰もが共有のルールにしたがって行動できるよう、訓練への全員参加が望ましい。各拠点にて推進委員を中心に全員参加型の緊急事態訓練へ昇華させていく。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり